

キャラクター名  
白銀 尚也 (しろがね なおや)

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハイロウ		ワークス	高校生	カヴァー	UGNチルドレン
	パロール			年齢		
オプション						
覚醒	死	衝動	憎悪	初期侵食率	36	%
出自	双子	経験	トラウマ	邂逅	忘却	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	0	1	0			1	行動値	13
感覚	4	0	0	1		5	(非装備時)	13
精神	3	0	0			3	戦闘移動	18
社会	1	0	0			1	全力移動	36

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	5		RC	2		交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
双弾 (ダブル・パレット)	射撃	5r+5	0	20		最速値6、C値8、コンセントレイト:エンジェルハイロウ+小さな塵+主の右腕【光の銃を使用後】
幻影双弾 (ファントム・パレット)	射撃	5r+5	0	44		最速値10、C値8、コンセントレイト:エンジェルハイロウ+小さな塵+主の右腕+マズヴィジョン【光の銃を使用後】

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
スマートフォン	
落雁	
兄の写真	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
【双子】白銀 尚史	P 純愛	N 偏愛		
【友人】神代 宗持	P 友情	N 不安		
[No.16 特異点 (シンギエラティ)]	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 2    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト:エンジェルハイロウ	2	2	メジャー	なし	なし	シンドローム	なし	
効果:	組み合わせた判定のクリティカル値を-Lvする。 (-2)							
光の銃	1	2	セットアップ	至近	自身	なし	なし	
効果:	以下のデータの武器を作成し、装備。技能〈射撃〉、攻撃力0+[Lv+2]。							
小さな塵	5	2	メジャー	武器	なし	射撃	なし	
効果:	このエフェクトを組み合わせた攻撃の攻撃力を+[Lv×2]する。							
主の右腕	5	2	メジャー	なし	なし	シンドローム	なし	
効果:	このエフェクトを組み合わせた攻撃の攻撃力を+[Lv×2]する。							
マズヴィジョン	3	4	メジャー	なし	なし	シンドローム	100↑	
効果:	このエフェクトを組み合わせた攻撃の攻撃力を+[Lv×5]する。1シナリオに3回まで使える							
魔人の盾	3	4	オート	至近	単体	なし	なし	
効果:	ガードを行う際に宣言する。このガードの間、ガード値+ [Lv×10] する。1シーンに1回まで使用できる。							
時の棺	1	10	オート	視界	自身	なし	100↑	
効果:	相手が判定を行う直前に使用。その判定は失敗になる。1シナリオに1回使用できる。							
真昼の星	★	なし	メジャー	至近	自身	なし	なし	
効果:	望遠鏡のような視覚を得る							
ディメンジョンゲート	★	3	メジャー	至近	効果参照	なし	なし	
効果:	遠く離れた自分が知っている場所にゲートを作り出す。							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

路線バスの爆発事故をきっかけに覚醒し、訳も分からない状態で混乱していた時にUGNに保護された。  
エンジェルハイロウとパロールのクロスブリード  
射撃などの遠距離メインの戦闘スタイル

白銀家の双子の弟として生まれたが、二人は育てられないという両親の都合で新生児の時に里子に出された。少し裕福な里親に引き取られたが、引き取って養っている事を盾にされて両親から身体的虐待、精神的虐待、性的虐待を受けて育った。16歳の誕生日に里親が二人とも交通事故で亡くなった。まさか二人とも死んでくれるとは思わなかった。そして金銭的に多少、余裕ができた白銀家へと戻ることになった。最初はごちなかつたが、双子の兄が積極的に話しかけてくれたおかげで、だんだん馴れ合うようになり好意を寄せる。だが、兄以外には基本的に興味が無い。その矢先に事故に遭い、オーヴァードとして覚醒した。人では無くなってしまった事を知って動揺した。……それ以上に、この真実を何も知らずに幸せに暮らしているであろう兄を守りたいと強く思った。

当初は兄だけが大事であり、他人には微塵も興味が無く関わろうともしない状態だった。しかし、オーヴァードとして覚醒するきっかけになったCrumble Daysでの事件を通してレネゲイドウイルスやオーヴァードの力の危険性、世界の真実を知った事で『一般人を守らなければ』という責任感が生まれた。以前よりは他人と関わろうとしたり、誰かを気遣ったりするようになった。

その後起こったWorld End Juvenileでの事件で、日常の裏で生きるオーヴァードとしての苦悩を知り新たな出会いを経て友情が芽生えた。日常と共に守りたいものが増えた。

両親がジャーム化して亡くなった事をUGNの人間から聞いた。一緒に過ごした時間は1年足らずだが、いい両親だった事に変わりはないので思う所はあった。